

今日2月3日は「節分」かと思えば、「立春」だそうである。現代の日本では、国立天文台の観測によって、「太陽黄経が315度になった瞬間が属する日」を立春とし、その前日を節分と定めているからです。つまり今年は2月3日に太陽黄経が315度となり「立春」、前日の2日が「節分」というわけです。さらに調べると、過去には2021年の立春が2月3日、ずっとさかのぼって1984年の立春が2月5日だったようです。

黄道上で太陽の黄経（黄道座標の経度）が0度になるのが春分点で、この時刻を含む日が春分の日になる。太陽の黄経が90度、180度、270度になる時刻がそれぞれ、夏至、秋分、冬至にあたり、春分を起点に太陽が黄道を一周すると、春夏秋冬の季節が巡ることになる。

([https://tenki.jp/suppl/grapefruit\\_j02/2022/03/20/31027.html](https://tenki.jp/suppl/grapefruit_j02/2022/03/20/31027.html) より)

(黄道は中学3年で学習します：太陽が年周運動によって天球上を移動するときの通り道)



節分には、その地域独特の風習があります。私が小さいころは、「鬼は外、福は内」の掛け声とともに豆まきをし、年の数だけ豆を食べた後、豆とお金を紙に包んで近くの4つ辻の真ん中に置いて振り返らずに帰ってくる、というのをしていました。振り返ると鬼が付いてくると言われ、とても怖かったのですが、次の日の朝早くに、置いたお金、わずか100円程度ですが、それを回収してお小遣いにするのが楽しみであったのも覚えています。「恵方巻」（今年は西南西）というのは、大人になってから知りました。また「節分いわし」「節分そば」を食べたり、焼いたいわしの頭と柵の枝を一緒にして玄関口に立てたりするところもあるそうです。親になってからは、子どもが小さいときに数回豆まきをしましたが、まいた豆の回収が大変であり、回収しきれなかった豆を後で見つけ不衛生なことなどから、豆まきをしなくなりました。古くからの風習は合理的ではない部分もありますが、そこに込められた意味や思いは次の世代へもつなげていきたいと思います。



## <1.17 防災学習、避難訓練、防災集会>

1月17日は、阪神淡路大震災が起こった日です。朝5時46分過ぎ、私も地震の揺れを感じて目を覚ましました。テレビをつけましたが、どこが震源地か、どんな被害が出ているのか、ほとんど報道されていませんでした。通常どおり学校へ行き、どうなっているのか知るため、職員室のテレビを見ていると、取材のヘリコプターから撮影された信じられない光景がどんどん画面に流れてきました。建物は倒壊し、至る所で黒煙が上がっていました。あれから30年。2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、昨年の能登地方地震と、最大震度7を観測し大きな被害をもたらした地震も発生しています。また、南海トラフ巨大地震の可能性も示唆されています。これらのことを踏まえ、1月17日の5校時に防災学習、6校時に避難訓練と防災集会を行いました。自分の命は自分で守れる行動がとれるようになってほしいと願っています。



**<兵庫県中学校スキー大会> 1月14・15日（氷ノ山国際スキー場）**

男子スラローム 第4位 長岡春希

（2月4日～7日長野県野沢温泉スキー場で開催される全国中学校スキー大会へ出場）

**<但馬中学校選手権バレーボール大会> 1月18日（男子：和田山中、女子：豊岡総合体育館）**

男子 予選リーグ 2勝0敗

決勝戦 村岡 1－2 和田山 準優勝（2/1 県大会へ出場）

女子 2回戦 村岡 2－0 近畿大学附属豊岡

3回戦 村岡 0－2 豊岡南 ベスト8

**<バスケットボール ウィンターCup> 1月25日（豊岡南中）**

1回戦 村岡 31－32 豊岡南

**<兵庫県中学校選手権バレーボール大会> 2月1日（井吹台中）**

1回戦 村岡 1－2 南武庫之荘

**<但馬中学校卓球1年生大会> 2月1日（八鹿総合体育館）**

男子優勝 伊藤翼（3/20 南あわじ市で開催される県大会へ出場）



**<校内スキー教室> 1月23日**

今年は眩しいくらいの天候の中、ハチ北スキー場にて1・2年生のスキー教室が実施できました。7名の保護者の皆様のご協力もいただき、1班5～6人の少人数で、合計9班に分かれて実習をしました。



様々なものが値上がりしている中、リフト代も少し上がっており、ご家庭の負担増となりましたがご理解をお願いいたします。また、年2回実施している資源回収を主な財源としているPTA特別会計より、バス代と指導者のリフト代、そして、ご協力いただいた保護者の皆様への謝礼を負担していただいています。安心して学校行事が行えるのも、これらのご支援のおかげと感謝申し上げます。

神戸地方気象台は、今朝、大雪に関する兵庫県気象情報第2号を以下のように発表しました。

4日から7日頃にかけて、近畿地方の上空約1500メートルには、氷点下12度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みです。このため、北部では4日夕方から6日頃にかけて大雪となる見込みです。雪雲が予想より発達したり、雪が同じ所で降り続いた場合には、4日夜のはじめ頃から6日頃にかけて警報級の大雪となる可能性があります。

3日6時から4日6時までに予想される24時間降雪量が多い所で、北部15cm

その後、4日6時から5日6時までに予想される24時間降雪量が多い所で、北部50cm

その後、5日6時から6日6時までに予想される24時間降雪量が多い所で、北部50cm

1月10日に大雪警報が発表されたときは、「今冬初めてのため」39メールで臨時休業のお知らせを流しましたが、今回はいたしません。ただ、翌日の予定等の連絡は、必要に応じて39メールにて流しますので、よろしくをお願いいたします。

朝、6時30分時点で香美町に大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪の警報が発表されている場合は臨時休業となります。警報の発表基準は地域により異なり、香美町における大雪の場合の発表基準は、12時間降雪の深さが30cm以上で注意報、50cm以上で警報となっています。